

起業拠点『マルシェのお店gosenfu』から始まる 地域資源を活用した減災対応型起業家育成事業

実行団体：大牟田ビンテージのまち株式会社



2024.08.09

資金分配団体：一般社団法人 SINKa

発表者：藤田豪太郎

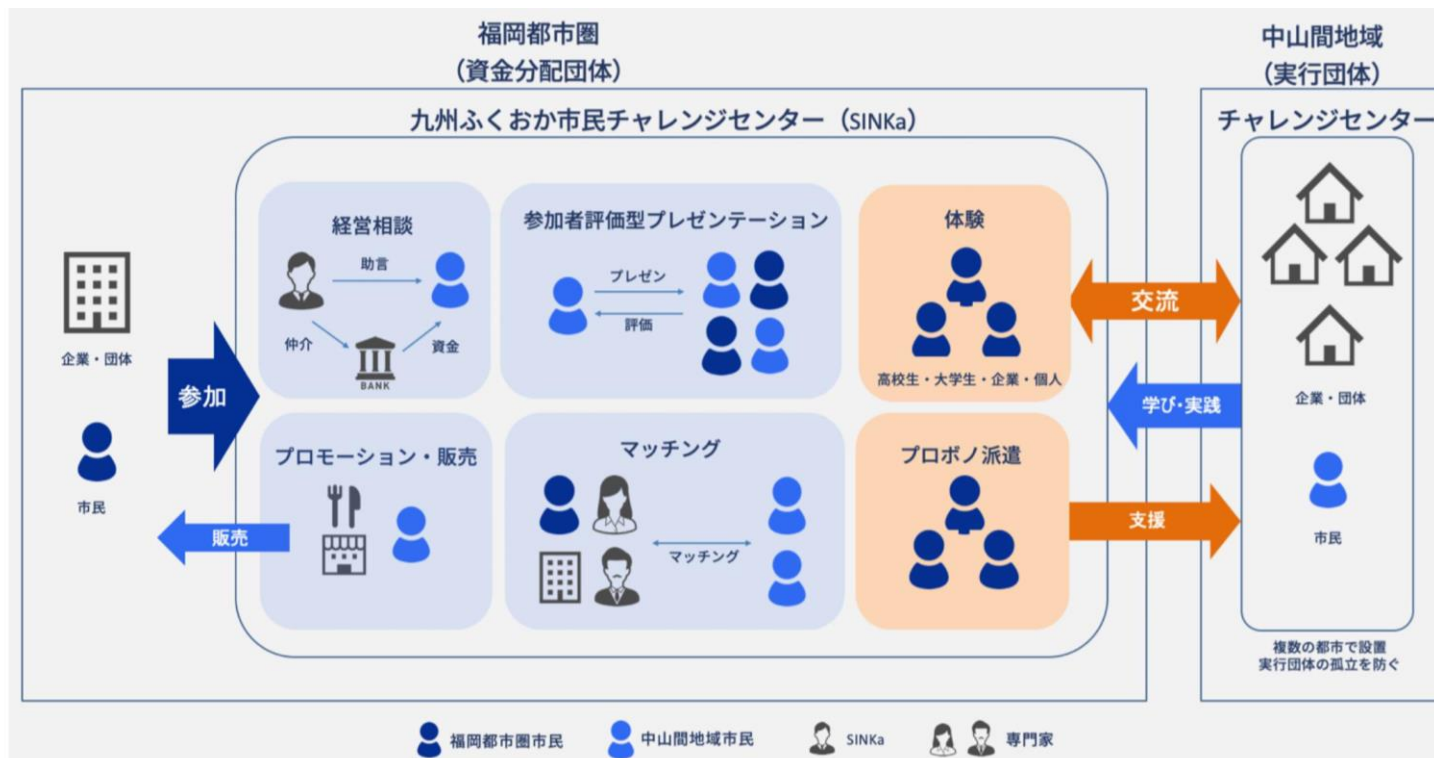
SB第3世代による九州位置（地域）価値創造事業 都市農村の多拠点チャレンジセンター連携による感動増幅事業

＜九州の社会課題＞

- 中山間地域の人口減少、人材不足
- 災害多発・復旧復興
- 基幹産業(農林水産業・食糧産業)の縮小
- 新価値創造

＜対応策＞

福岡都市圏と中山間被災地域・農林水産業従事者をつなぐ九州ふくおか市民チャレンジセンターを設立し、複合的課題解決型ソーシャルビジネスを目指す



対象地域	福岡県、大分県、熊本県 (九州地域)	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社イノP 一般社団法人 E-Yoron 一般社団法人 MIT 大牟田ビンテージのまち株式会社 株式会社フリップザミント
応募数/採択数	31団体/5団体	
助成額(千円)	137, 142.8	

地域資源を活用した減災対応型起業家育成事業 ～災害対応型コミュニティ機能・市民レジリエンスの向上～ 大牟田ビンテージのまち株式会社

大牟田ビンテージのまち株式会社
株式会社CREA（不動産賃貸業）

代表取締役 富山 博史（1983.2.22）40歳

企業理念

「地域とともにきらめく街づくり・人づくり」

ミッション

「社会課題を事業を通じて解決する」



令和2年7月6日
大牟田市豪雨災害 発生



地域資源を活用した減災対応型起業家育成事業 ～災害対応型コミュニティ機能・市民レジリエンスの向上～ 大牟田ビンテージのまち株式会社

＜社会課題＞

- 令和2年7月大牟田市豪雨災害からの経済的復興
- 日本全国で多発する自然災害。次の社会を担う若者はより自然災害との共存が必要となる。また、自然災害発生後の早期復旧や、働く場の確保、事業継続などの課題に対して、地域全体で取り組む必要がある。
- それぞれの社会課題の領域を横断し、連携した解決案の立案、実践。
- 自然災害発生後、2次災害につながる可能性のある管理の不十分な空き店舗や耕作放棄地

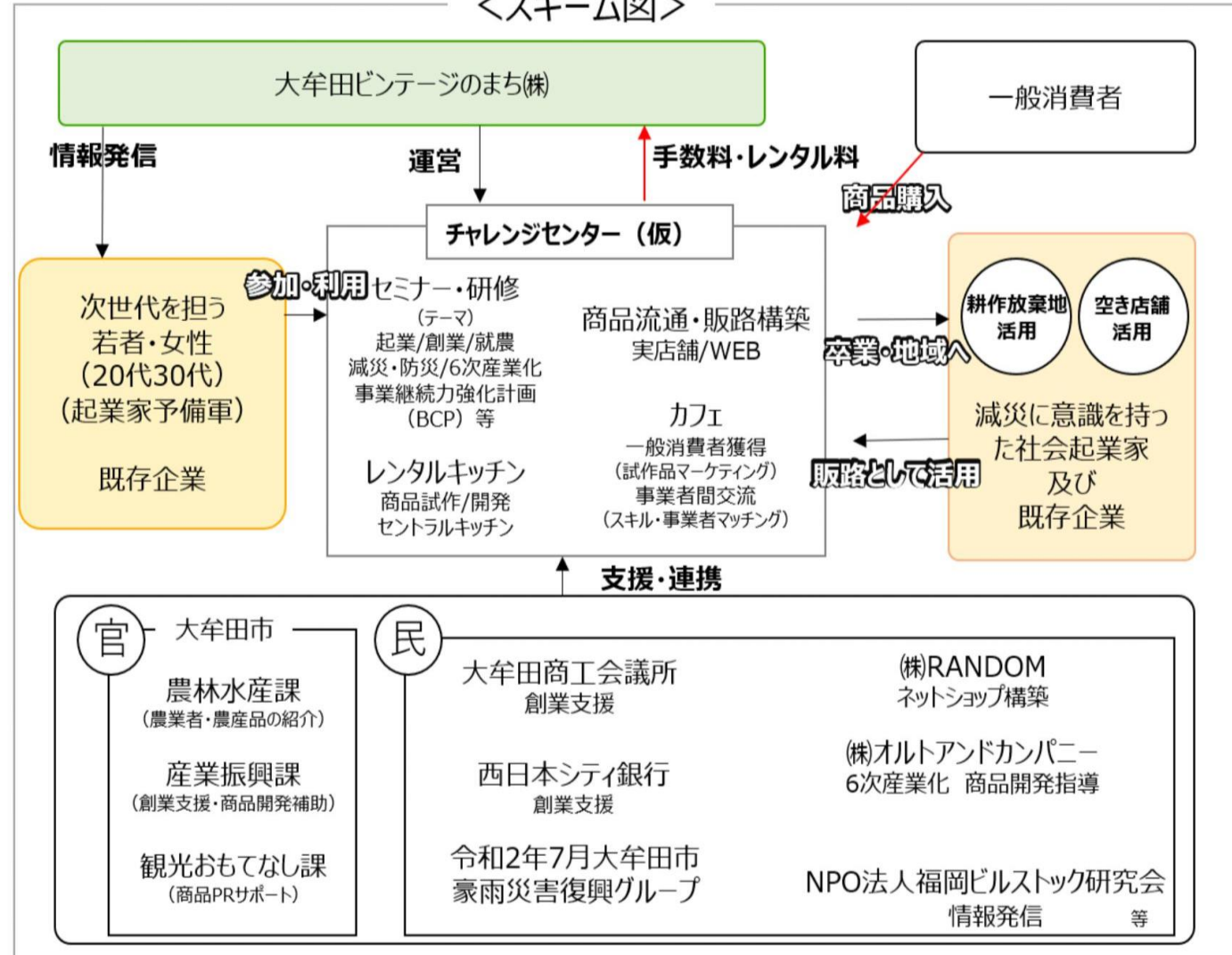
＜事業内容＞

- 減災に意識を持った起業家を地域に育成
- 空き店舗を活用した、チャレンジセンターの設置。カフェを併設することで、若者の働く場の創出や、情報発信、地域住民との自然な交流につなげる。センターでは、事業継続力強化計画（BCP）、起業、創業、就農、6次産業化等を中心に専門家によるセミナー、交流を図る。また農産物、加工品の直売所等の役割も兼ねる。
- レンタルキッチンの整備。規格外の農作物を利用したレシピ開発、試作を実施。他事業者と連携した商品開発や、コロナ禍での非接触型の商品流通・販路を構築。販売し、事業の継続性の確保と、その過程を共有し、情報発信することで、次世代の起業家発掘につなげる。

＜3年後のアウトカム＞

- チャレンジセンターでの研修、交流から、企業、生産者とのマッチングが進み、規格外の農作物を活用した新商品開発、販売がスタートしている。商品化数：5
- チャレンジセンターの研修やレンタルキッチンを利用した商品開発が進み、若者（20代、30代）が本事業で構築した販路を活用した起業を行っている 減災意識を持った起業家数：2名
- 事業継続力強化計画（BCP）認定企業：10社

＜スキーム図＞



地域資源を活用した減災対応型起業家育成事業
～災害対応型コミュニティ機能・市民レジリエンスの向上～
大牟田ビンテージのまち株式会社



若者起業チャレンジセンター
『マルシェのお店gosenfu』

シェア棚ショップ
シェアキッチン
コラボカフェ
イベントスペース
etc.



地域資源を活用した減災対応型起業家育成事業 ～災害対応型コミュニティ機能・市民レジリエンスの向上～ 大牟田ビンテージのまち株式会社

防災グリーンバード

green bird 大牟田チーム独自のプロジェクト。きっかけは令和2年7月豪雨災害。
道路にある側溝などに詰まっているゴミや雑草を除去するクリーンアップ。
平時から水はけのよい状態を保ち続けることで、道路の冠水などを防ぐ「減災活動」を目的としている。



大牟田 側溝のゴミを拾って浸水被害減へ



- MUJI店頭での広報
- 大手スーパーでの全国展開
- 全国green birdでの取り組み

地域資源を活用した減災対応型起業家育成事業
～災害対応型コミュニティ機能・市民レジリエンスの向上～
大牟田ビンテージのまち株式会社

大牟田わかもの会議

大牟田市の中心市街地活性化事業のひとつ。令和4年(2022年)10月に発足。大牟田市内に在住・通勤・通学している15歳から39歳程度までの若者が集う。

全体ミーティングの開催は、月に1、2回程度。開催場所は、「えるる」または「マルシェのお店 gosenfu」。土曜日昼と水曜日の夜日程があり、毎回ゲストを迎える。

2022年12月 駅っこクリスマスマルシェ@駅西口広場

2023年7月 SL人吉お見送りイベント

2023年11月 リリフェス@駅西口広場

2024年3月 SL人吉ラストランお見送りイベント

2024年5月 みんなのえきまえマルシェ@駅西口広場

えきまえオープンミーティング

2024年6月 駅西口広場の植栽剪定作業



- 大牟田市役所事業への参画
- JR大牟田駅の若者利用促進
- 防災士受講費用を市が初めて助成

地域資源を活用した減災対応型起業家育成事業 ～災害対応型コミュニティ機能・市民レジリエンスの向上～ 大牟田ビンテージのまち株式会社

資金分配団体としての関わり例

(10月11日開催)

SB/cb・SDGs研究会
『災害に強いまちづくり×若き起業家育成』
～休眠預金活用事業 事業計画ブラッシュアップ!～



事業計画プレゼンテーション
大牟田ビンテージのまち株式会社
代表取締役 富山 博史 氏



コメンテーター：
被災地NGO協働センター 代表
頼政 良太 様

『現地よりライブ配信！
若者の起業拠点完成、
新たな取り組みのスタート』
ソーシャルビジネス2年目の挑戦



大牟田ビンテージのまち株式会社 代表取締役
富山 博史 氏



まちづくりトークイベント
co-en vol.1
@マルシェのお店 gosenfu
2024 **7.18th**
19:00-20:30
《タイムスケジュール》
19:00-20:30 トークイベント
20:30-21:30 交流会(自由参加)



ゲストスピーカー
大堂良太氏

富山博史氏
参加費 2,000円
(学生 1,000円 ※大学生まで)
※フンドリンク制
※事前申込制 定員25名程度

主催：大牟田ビンテージのまち株式会社



●主催する研究会での事業紹介と情報発信

●イベントでのチャレンジセンター活用

●POが実行団体のセミナーに登壇

地域資源を活用した減災対応型起業家育成事業
～災害対応型コミュニティ機能・市民レジリエンスの向上～
大牟田ビンテージのまち株式会社

この事業から学んだこと

①事業拠点があることの強み

地域行政や地域社会、地域住民に向けて事業を進める場合に、目に見える事業の姿として、チャレンジセンターという「拠点」があったことが大きいと感じる。

資金分配団体としても、拠点を利用すること、拠点をアピールすることで実行団体の事業推進ができた。

②地域での仲間づくりの重要性

チャレンジセンターの改修工事期間が延びてしまったが、その間に地域の若者を集めてDIYワークショップを実施することもでき、仲間と一緒に作りあげる姿を演出できていた。

グリーンバード活動や商店街活性化などで蓄積された実行団体のノウハウと資産であろう。

③事業に共通項を持つPOの役割

チャレンジセンターに組み込んだ「シェア棚」やシェアキッチンなどの機能、若者対象にビジネスするノウハウなどを、担当POが自分の事業で得た経験やノウハウを提供した。

起業拠点『マルシェのお店gosenfu』のオーナーが順調に増えていることが、事業化を支えている。



Webサイト



Facebook

一般社団法人 SINKa



HP : <https://www.sinkweb.net/>

FB : <https://www.facebook.com/SINKaSB>

TEL:092-762-3789 FAX:092-762-3788

e-mail : info@sinkweb.net